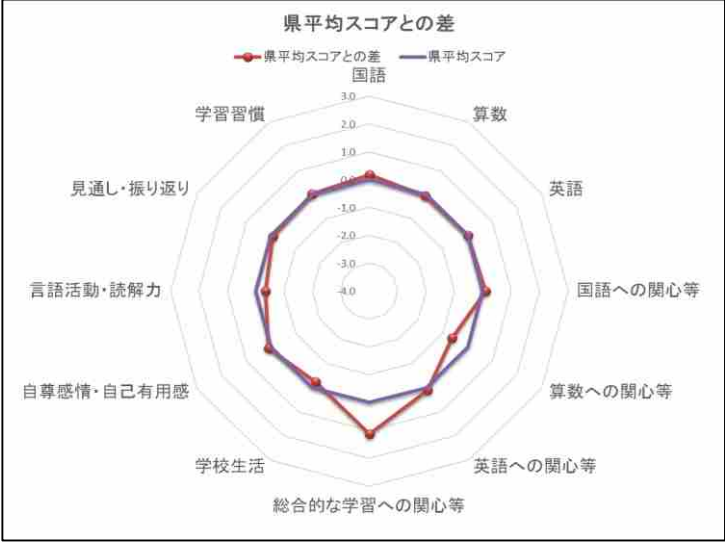


平成30年度 島根県学力調査結果及び分析・対策(松江市立母衣小学校)

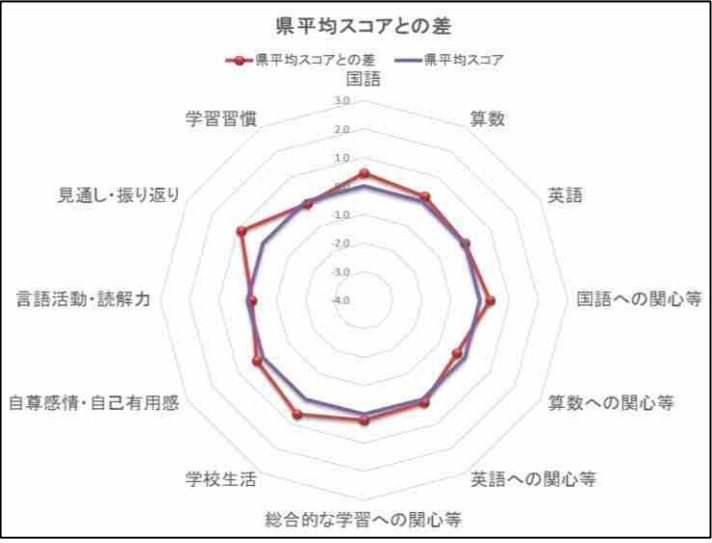
(1) 学力調査結果から見られた傾向

		成果と課題(○:成果、●:課題)	対策
5年	国語	○全体として県平均を上回っている。「伝統的な言語文化と国語の特質」領域の「ローマ字を書く」が特に大きく上回っている。 ○「話す・聞く」、「書く」、「読む」領域については県平均を上回っている。 ●「伝統的な言語文化と国語の特質」領域について県平均を下回っており、特に「漢字を書く(4年配当漢字)」は大きく下回っている。	・ミニテストやまとめプリントを用いて、これまでに習った漢字及び言語の特徴やきまりに関する問題を繰り返し練習する。
	算数	○「数量関係」の領域、「図形」(立体)の領域で県平均を上回っている。 ●全体として県平均を下回っている。「数と計算」、「図形」(平面)の領域は県平均を下回っている。 ●「数と計算」の領域では、5年生までの学習内容が県平を下回っている。 ●評価の観点「数学的な考え方」で記述式の問題が県平均を下回っている。	・計算会でこれまでの復習内容を出し、繰り返し行う。 ・自分の考えをノートに記述する時間をとり、数学的な考え方を身につけさせる。
6年	国語	○どの領域においても県平均を上回っている。 ○「書く」、「伝統的な言語文化と国語の特質」領域については県平均を大きく上回っている。 ●「話す・聞く」、「読む」領域についても県平均を上回っているもののほかの領域と比べるとあまり差がない。 ●「読みとった内容を比較し、違いをまとめて書く」問題については、県平均、校内平均ともに低い。	・注意不足による誤答があるため、問題文を正しく読み取ることができるよう、ノートのとり方、文字を丁寧に書くことを重点において指導する。 ・読書を奨励し、本を読む環境を整える。
	算数	○「量と測定」、「図形」、「数量関係」の領域で県平均を上回っている。 ○全ての問題形式において正答率が県平均を上回っている。 ●「数と計算」の領域は県平均並みであり、ほかの領域と比較すると弱い。 ●「数量や図形についての技能」で県平均とほぼ等しく、他と比べると弱い。	・計算や図形などの問題をプリント等で補い、それを計算会でも出題し、継続して取り組み定着を図る。

(2) 各学年・各教科の調査結果チャート
5年



6年



(参考) 平均正答率

		国語	算数
5年生	本校	66	54
	松江市	63	55
	島根県	63	55

受検者数
5年生 88 人

各スコアの範囲は-4から+3までで、島根県のスコアは基準値の0となっています。
スコアが0より大きければ大きいほど、島根県よりも「当該教科で平均正答率が高かった」、あるいは「当該カテゴリで肯定的回答が多かった」という結果になります。

(参考) 平均正答率

		国語	算数
6年生	本校	75	63
	松江市	69	60
	島根県	67	59

受検者数
6年生 74 人

(3) 生活・学習に関する意識調査から見られた傾向

平成31年2月15日

		成果と課題(○:成果、●:課題)	対策
5年	授業改善に関わる事項	○将来の夢や目標をもち、学習や学校生活に取り組んでいる児童が多い。 ○「国語、外国語が好きだ」と思っている児童が多い。 ●「算数が好きだ」と思っている児童が少ない。 ●授業中の発言意欲が低い児童が多い。	・自分の考えを説明するなど、児童が主体的に学べる場面を増やす。 ・ペアやグループなど少人数での話し合い活動を増やし、説明する力や友達の意見を聞いて考える力を育てる。
	家庭学習に関わる事項	○目標や見通しを持って学習に取り組んでいる児童が多い。 ●自分で計画的に家庭学習に取り組んだり、予習に取り組んだりする児童が少ない。	・家庭学習や自学のメニューを示したものをを用いて、スキル・ドリルを繰り返し行い、基礎・基本の定着を図るとともに、計画的に学習に取り組むことができるようにする。 ・テストの予定を早めに知らせ、自学などに計画的に取り組めるようにする。
6年	授業改善に関わる事項	○授業で自分の考えをたくさん発表していると感じている児童が多く、積極的に学習に取り組んでいる。 ●「算数を好きだ」と思っている児童が少ない。 ●算数の学習で自分の考えをノートにまとめることは好きだが、それを友達に説明することに挑戦していると感じている児童は少ない。	・意欲のある児童にはいろいろな問題に取り組ませ、難問を解く楽しさ、達成感を味わわせたい。 ・ペアやグループなど少人数での話し合い活動を増やし、説明する力や友達の意見を聞いて考える力を育てる。
	家庭学習に関わる事項	○自己肯定感が高く、ものごとを最後までやりぬこうという気持ちが強い。 ○家庭学習に熱心に取り組んでいる児童が多い。 ●自分で計画的に家庭学習に取り組んだり、予習に取り組んだりする児童が少ない。	・家庭学習や自学のメニューを示したものをを用いて、スキル・ドリルを繰り返し行い、基礎・基本の定着を図るとともに、計画的に学習に取り組むことができるようにする。 ・テストの予定を早めに知らせ、自学などに計画的に取り組めるようにする。

(4) 生活・学習に関する意識調査の結果

